

## 「おかしい」と感じたら迷わず連絡！

今年の4月、熱海市で虐待により児童の命が奪われるという痛ましい事件が起きました。児童虐待は、あなたの周りでも起こる可能性があるものです。この事件をきっかけに児童虐待について考え、児童虐待の防止に向け取り組んでいきましょう。

### 増加する相談件数

静岡県の児童相談所における虐待相談の状況を見ると、平成3年度の28件から15年度には592件と約20倍に増加しています。内容別相談件数では、最も多いのは身体的虐待で45%、次にネグレクト40%、心理的虐待11%、性的虐待4%となっています。

児童虐待は、将来にわたって子どもの心身に深い傷を与え、時には尊い命が奪われる事件となるなど大きな社会問題となっています。

### 通告は義務

「児童虐待の防止等に関する法律」は平成16年10月に改正され、定義の見直しや通告義務の拡大などが規定されています。これによると、保護者以外の同居人による行為や児童への被害が間接的なもの（例えば、児童の目の前でDVが行われる）についても児童虐待に含まれます。また、通告の対象が「児童虐待を受けた児童」から「児童虐待を受けたと思われる児童」に拡大されました。

### 児童虐待の4つのタイプ

身体的虐待...叩く、蹴る、つねる、殴る、噛む、縛る、水につける、火を押し付ける など  
性的虐待...性的暴行、性関係の強要、性的いたずら など  
ネグレクト...食べ物などを与えない、衣服をかえない、放っておく、家に閉じ込める など  
心理的虐待...子どもの存在を無視する、怯えさせる、ひどい言葉でなじる など

### 早期発見・早期対応が重要

熱海市で起きた事件は、近隣住民が、虐待が疑われる事実を把握できていたにもかかわらず、関係機関への通告がなされず、結果として痛ましい事件になってしまいました。虐待が疑われる場合やおかしいと感じたら、市町村や児童相談所に迷わず連絡してください。また、子育ての不安、悩みについての相談もお受けします。

<相談窓口>

熱海市子育て支援室 86 - 6353

伊東市児童課 36 - 0111 (代表)

### 子どもを虐待から守るための五か条

- 「おかしい」と感じたら迷わず連絡（通告）（通告は義務＝権利）
- 「しつけのつもり...」は言い訳（子どもの立場で判断）
- ひとりで抱え込まない（あなたにできることから即実行）
- 親の立場より子どもの立場（子どもの命が最優先）
- 虐待はあなたの周りでも起こりうる（特別なことではない）



# 食中毒に気をつけよう！

食中毒の発生しやすい季節になりました。みなさん、対策は万全でしょうか？  
 当たり前のことをしっかりやっていたら、食中毒は防止できます。  
 繁忙期を控えたこの時期、あらためて食品や施設の衛生管理を見直し、  
 食中毒を出さないように取り組みましょう。



## 注意を要する食中毒

### 腸炎ビブリオ

夏に多い食中毒。海産魚介類が主な原因食品で、魚を調理前によく水洗いすることが一番の予防。まな板などの調理器具は魚専用とし、洗浄・消毒・乾燥を十分にしましょう。

### サルモネラ属菌

ここ何年か「鶏卵及びその加工品」が関係すると推定される食中毒が多発しています。卵は新鮮なものを選び表示期限内に消費する、調理直前に割卵し十分に加熱するなど、取扱いには十分注意してください。

### ノロウイルス

今年県内で発生した食中毒のうち10件中9件がノロウイルスによるものでした。生カキ等の二枚貝は汚染の可能性があるので十分加熱すること。消毒液に強いウイルスなので、石けんと大量の水で念入りに洗い流すように手洗いをしましょう。

静岡県の食中毒件数（平成12年～17年：病因物質別）

	12	13	14	15	16	17
<b>総 数</b>	30	16	27	20	26	10
<b>腸炎ビブリオ</b>	7	2	7	2	4	
<b>サルモネラ属菌</b>	6	1	3	7	7	1
<b>ノロウイルス</b>	9	5	11	2	7	9
<b>その他</b>	8	8	6	9	8	

17年は6月までの件数

## 食中毒予防の3つのポイント

### 食中毒菌を・・・

#### つけない！

**清潔**

まな板などの調理器具は肉用、魚用、野菜用、調理済食品用に分け、使用後によく洗浄、消毒する。手洗い場には4点セット（石けん・消毒液・爪ブラシ・ペーパータオル）を備え、調理前、調理後、トイレの後などこまめに手洗いする。

#### 増やさない！

**迅速・冷却**

食品を室温で放置せず冷蔵、冷凍で保存する。  
調理した食品は時間を置かず早く食べる。

#### やっつける！

**加熱**

食品の中心まで火が通るよう十分加熱する。  
（中心部で75℃、1分以上）



食品関係従事者を対象した食中毒防止講習会



# 救命に役立つ機器「A E D」

呼吸が止まる、心臓が止まる それは、人間の生死にかかわる非常に危険な状態です。心停止した人の心臓に電気ショックを与え、救命を図るA E D（自動体外式除細動器）という機器を、昨年7月から一般市民も使えるようになりました。救命率向上の切り札A E Dについてご紹介します。



< A E Dの操作1・2・3 >

電源を入れる

電極パッドを貼る

A E Dが自動的に心電図を解析  
除細動適応か判別

除細動ボタンを押す

## 画期的な機器

突然の心停止は、多くの場合、心室細動という不整脈が原因です。心室細動になると心臓がけいれんし、ポンプとしての役割が果たせなくなります。心臓を正常な状態に戻すには、電気ショックを与えて心臓の震えを止めること（除細動）が必要です。A E Dは、除細動という医学的処置を一般市民でも行えるようにした画期的な機器なのです。音声ガイドに従って操作すれば、誰でも安全に使うことができます。



当センター職員もA E D講習を受講

## 「空白の6分間」にあなたの協力を

心停止から5分以内に除細動を行えば約半数は助かりますが、10分後では0%。1分経過するごとに、生存率は7~10%ずつ下がっていきと言われます。いかに1分、1秒が大事かが分かりますが、119番通報があってから、救急車が現場に到着するまでの平均的な時間は、およそ6分。生存率を高めるためには、到着までの「空白の6分間」を埋める一般市民の協力がぜひとも必要です。「救命の連鎖」に、あなたも手を差し伸べてください。

## 「救命の連鎖」とは



A E Dの操作方法については、消防本部が行う救命講習の中で学ぶことができます。希望される方は、お近くの消防本部又は消防署にお問合せください。

# フッ素でブクブク、むし歯をなくすぞ！



みんなで一緒にブクブク(熱海市立中央保育園)

左の写真、何をしているところかわかりますか？

答えは、「フッ素洗口」

むし歯を予防するために薄めたフッ素水溶液で口の中を洗っているところです。

この方法は、安全性にも優れており、昔から実施している県内の先進地では、子どものむし歯が他の地域と比べて少ないという結果になっています。

熱海市では、熱海市歯科医師会と協力して15年度から「フッ素洗口」に取り組んでいます。

～子供達をむし歯から守る～

当センターもお手伝いします。



## ダメ！ゼツタイ！

- 6.26 国際麻薬乱用撲滅デー -

薬物乱用は、二度と元の健康な身体を取り戻すことができないことに加え、他人を傷つけたり、家族や社会にも多大な迷惑をかけます。

当所では、6月24日JR熱海駅前で、薬物乱用防止協議会他6団体とともに薬物に手をださないと同時に、その根絶を訴える街頭啓発を実施しました。



### 今春開設の社会福祉施設紹介

#### うさみの園(伊東市宇佐美)



特別養護老人ホーム  
(90床)  
ショートステイ(20床)  
デイサービス(30人)

保育園(80人)

#### 川奈愛育クラブ(伊東市川奈)



来春には、伊豆海の郷(熱海市:特別養護老人ホーム等)、みはらし(伊東市介護老人保健施設)が開設予定

<お問合せ先> 静岡県熱海健康福祉センター・熱海保健所

〒413-0016 熱海市水口町13-15 電話0557-82-9106 FAX 0557-82-9131